

現職教育 国語科指導法研修会

(H28年度・29年度の取り組み)

子どもたちの21世紀型能力獲得のために、アクティブ・ラーニングの実践の仕方や、汎用的なスキルの育成方法、さらには自らの学びを振り返る（メタ認知）効果的な指導の在り方を学びました。

愛知教育大学教職大学院教授、佐藤洋一先生を講師に招き、講義や演習、示範授業を通して、教師の力量向上を目指しました。



佐藤先生による「詩っておもしろいな」の授業を行っていただきました。学びの楽しさ、知的な発見や共感、話す聞く、書く、話し合うなど、大切なことがたくさん盛り込まれたとても楽しい授業で、教職員一同大変参考になりました。

代表授業を参観していただいた後、佐藤先生から成果と課題についてご指導いただきました。今後の指導に向けてたくさんの視点をいただくことができました。



現職教育 アクティブ・ラーニング研修

(H28年度の取り組み)

アクティブ・ラーニング研修の一環として、名古屋学院大学にて実際の授業を見学してきました。大学生が行うプレゼンを見ながら、小学生段階で身に付けておきたいスキルについて再確認することができました。また、アクティブ・ラーニングを取り入れた学習形態についても、小学生の実態に合わせた進め方のヒントを多く得ることができました。

ゼミ生がグループごとに分かれ、自分たちの調べた課題について発表しています。根拠となるデータを示しながら、聞き手が納得できるよう工夫を凝らしています。



児島教授に発表後の講評をいただきました。大学でもアクティブ・ラーニングを実践しながら、ルーブリックに沿った力が身に付くよう授業が構成されていました。

プレゼンテーション学習会

(H27・28年度の取り組み)

学力向上サポート事業の一環として、国際プレゼンテーション協会から外部講師を招き、学年ごとに伝える力を伸ばす授業を行いました。昨年度教わった「結論⇒理由⇒結論」で話すことや、「ゆっくり話す」などの、7つの技（資料①）に加えて、今年度はグループの友達（聞き手）を意識したプレゼンを行いました。持ち時間1分という限られた中で、子どもたち自分たちの思いを相手に分かりやすく伝えることができるよう、話型に当てはめて各々のプレゼンを考え、発表することができました。

資料① 7つの技

- ・ 「結論⇒理由⇒結論」で話そう
- ・ 相手の立場に立って話をしよう
- ・ まっすぐ立って話をしよう
- ・ 大きな声であいさつをしよう
- ・ 相手の目を見て話そう
- ・ ゆっくり話そう
- ・ 身振り手振りを使おう



「プレゼンとは、プレゼントです。聞いた人がうれしいと感じるように、自分の思いを大切に伝えていきましょう」という心構えを教えていただきました。



大宝小学校のよいところについて、7つの技を使いながら、タブレットを活用したプレゼンを行っています。

この学習を通して、子どもたちは自分の思いを相手に伝えるコツを身に付けることができました。